



浦和学院高等学校 広報・企画局 編集

Topics 浦和学院専門学校 中国人留学生 正看6名合格!!



併設校である浦和学院専門学校看護学科で学んだ中国人留学生6名が、在学中に、「日本語検定1級※」および「看護師国家試験」へ見事合格した。

※日本語検定1級 = 国家試験受験の必須資格

彼らは、4月（内1名は、昨年4月）より晴れやかに「看護師の道」を歩み始め、現在関西の病院にて勤務している。近隣の公立大学では、7年かけて准看合格者1名（外国人留学生の例）という数値から見ると、本校併設校での正看6名合格は、画期的な数値である。

入学当初は、日本語もままならずカタコトであった6名。文化の違いや伝えたい想いを話せず友人との日常会話等（言葉の壁）に苦戦していた。看護の世界は、ただでさえ専門用語が多く、知識のみならず、患者とのコミュニケーション能力も問われる。毎時間の講義の理解や日々の課題、実践への取り組みに加え、日本語理解、検定取得に向けた勉強、そして看護師国家資格取得に向けた勉強など、想像を超える彼らのひたむきな努力と成果は、学園としての誇りであり大きな喜びである。



浦和学院専門学校
校長 藤枝 弘子

当校は、「吾道一貫」を基本理念として、自己の成長と看護の基本となる知識・技術・態度を修得し、人間性豊かな看護師、社会に貢献する看護実践者の育成を目指しています。

看護に最も必要なものは、豊かな人間性を育み、社会の人々、看護を必要とする人々と信頼関係が構築できることとあります。なぜなら相手と信頼関係が築けて、はじめて看護が提供できるからです。

教職員一丸となり、人間として生きる術(ライフスキル)を教育に取り入れており、あいさつ、言葉遣い、表情、しぐさ等「身だしなみ」の修得に日々励んでおります。

限られた3年間で学生1人ひとりの、「看護師になりたい強い目標」を成就させるため、学習環境の充実を図っております。昨年10月には、アンジュサロンも完成し、明るく活気のある学園を目指しております。



「看護師国家試験合格までの道のり 浦和学院専門学校の教育」

今、日本では看護師を目指して勉強し、あるいは看護師になるために進学を希望する人が数多くいますが、看護師になるまでの道のりは決して平坦なものではありません。

ごく普通の人間が人の命を支える看護師になるのですから、専門的な知識や技術だけではなく、冷静な判断力や問題解決能力、とりわけ相手を理解し思い遣る気持ちを身につけることが必要となります。

今回本校を巣立った中国からきた留学生たちは、言葉の壁や文化の違いに悩み苦しみ、時には涙を流し、日本で看護師になるための努力を続けてきました。

私たち教職員も日本の学生とは違うという先入観を抱いてしまった時もありましたが、一人前となって巣立っていった彼らを見て、共に悩み学んだ日々がとても大切なものを感じられます。

本校の卒業生として日中両国の医療現場で活躍してくれることを信じ、彼らの努力に心からの敬意を表します。



今後、外国人の人材活用促進や国際医療の発展促進等、両国の架け橋となる活躍を期待したい。